転倒による労働災害が多発

令和9年
1月・2月

積雪・凍結した通路・路面による 転倒災害 を防止しましょう

ゼロ災 京都

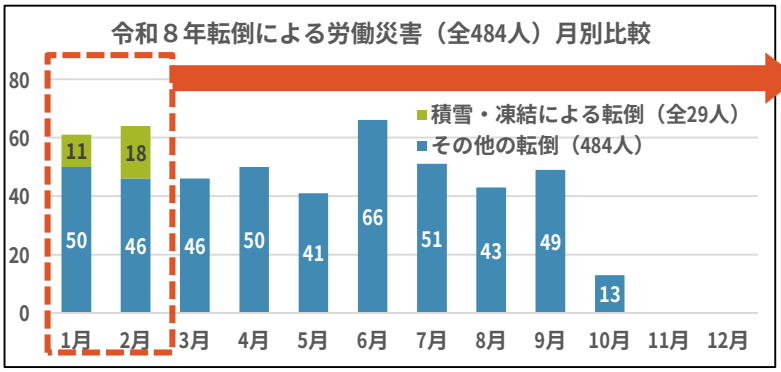
京都労働局 労働基準部 健康安全課

令和8年の京都府内における労働災害（令和8年労働災害発生状況速報［令和8年10月末現在］に基づく死亡又は休業4日以上の負傷による災害［新型コロナウイルス感染症関係を除く］）による死傷者2,048人のうち、転倒によるものが484人と前年同期比64人減（11.7%減）と減少していますが、全体の23.6%を占めて最も多くなっています。

転倒による労働災害は、令和8年1月が61人、このうち積雪・凍結した通路・路面を原因としたものが11人となっており、さらに、同年2月は64人、このうち積雪・凍結した通路・路面を原因としたものが18人と、気温が低下する冬季の積雪・凍結した通路・路面では、転倒による労働災害が発生しやすい傾向があります。

気温の低下に関しては、気象条件に左右されますが、毎年、積雪・凍結した通路・路面を原因とした転倒による労働災害が発生していることから、各事業場においては通常の転倒災害対策に加え、積雪や凍結するような冬季に備えた転倒による労働災害防止のための取組を進めましょう。

1 転倒による京都府内の労働災害発生状況（令和8年10月末速報値）



1月・2月は、積雪・凍結した通路・路面によって転倒による労働災害が発生しやすくなります！

【転倒箇所事例】
- 駐車場内の雪解け水が凍結［商業、女性］
- 防水シート上の残雪［建設業、男性］
- 玄関のタイルが凍結［商業、女性］
- 雪で凍結した下り坂［製造業、女性］
- 両手でのぼり旗を持って設置中 地面の凍結で［商業、女性］



次ページで3つの知識を身につけ、さらに安全通路の確保・維持を徹底しよう！

2 転倒による労働災害防止のための『4つの取組』

(1)「天気予報」をチェック！

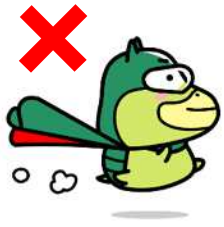
積雪を招く寒波、凍結を招く放射冷却等が予想される場合は、労働者に対し注意喚起を促しましょう。

(2) 除雪・融氷、残水清掃で「安全通路の確保・維持」！

駐車場内の路面、駐車場から建物までの通路等の除雪の徹底、融雪マットの設置、降雪前、除雪後等に凍結防止剤の散布等を行いましょう。また、建物出入口には転倒防止用マットを設置する他、靴底についた雪が落ちて溶ける等により通路上に水滴が残っている場合、水滴の凍結、残水により転倒する危険性がありますので、適宜清掃を実施して危険性を取り除き、安全通路の確保・維持しましょう。

(3)「時間に余裕」をもった行動を！

悪天候により交通機関の遅れが見込まれる場合は、時間に余裕をもって出発するようにし、無理に走ったり、近道をする等定められた手順、経路を省略することがないよう心にゆとりをもった行動を心がけましょう。特に積雪・凍結した通路・路面を歩行せざるを得ない場合、小さな歩幅で靴の裏全体を地面につけて歩く等転倒しにくい歩き方（いわゆるペンギン歩き）を意識しましょう。



(4) 滑りにくい「履物」を履く！

作業に適し、氷に対する防滑性の高い履物を履きましょう。

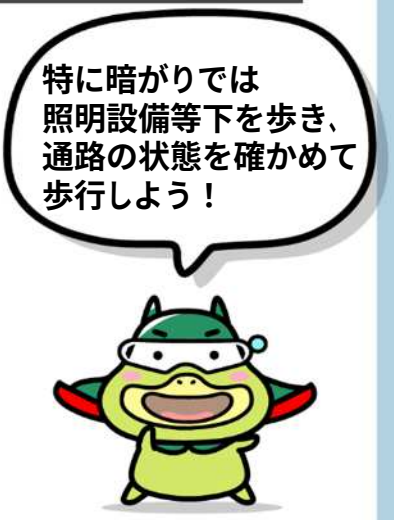
ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

京都労働局・京都府下労働基準監督署

3 転倒による労働災害防止のための『3つの知識』！

階段、出入口周り以外の降雪・凍結時に滑りやすい「場所」を知ろう！

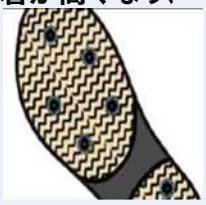
駐車場出入口	車のタイヤで路面上が磨かれ、非常に滑りやすい場所があります。
バス乗り場	歩行者により踏み固められることで、滑りやすくなっている場合があります。
白線	横断歩道などの白線には薄い氷膜が張っている場合があります。
マンホール・グレーチング	薄い氷膜が張っている場合があります。また、金属に水分が付着すると摩擦係数が特に低くなります。
坂・スロープ	歩行時、路面に力を掛けにくく、坂の下側に滑りやすくなります。



降雪・凍結時に滑りにくい「歩き方」を知ろう！

歩幅を小さく	歩幅を小さくしたほうが、路面に鉛直に力が掛かり、摩擦が増します。
靴の裏全体を路面に着ける	路面との接触部分が多いほうが、摩擦が増します。
左右の足幅を少し開ける	左右の足幅を閉じるよりも、少し開けたほうが体が安定します。
体を少し前に	背中を反ると、体の重心が後ろに来るため、滑りやすくなります。
両手は空ける	ポケットに手を入れたり荷物を持つと、バランスを崩しやすくなります。 また、荷物を持っていると、前方や足元を確認できません。
急がず焦らず余裕をもって	焦ると歩幅が大きくなりやすく、体のバランスも崩しやすくなります。

降雪・凍結時に滑りにくい「履物」を知ろう！

やわらかいゴム底	滑り止め入りゴム底	深い溝のある底	ピン・スパイク金具付底
路面への接着が高くなり、摩擦が増します。	靴底ゴムに混ぜたガラス繊維などの滑り止め材で、摩擦を増加させます。	凹凸が路面に掛かることで、摩擦を増加させます。	金具が氷を突き刺します。固く凍った路面で威力を発揮します。
			

4 転倒による労働災害防止のための冬季の安全通路確保取組例

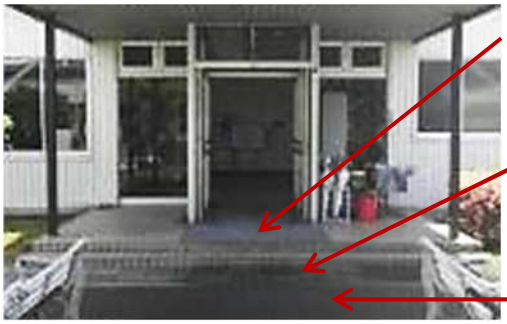
実際の取組例を参考に冬季の転倒による労働災害防止のため「安全通路」を確保し、整頓、清掃等4S活動を推進することにより適切な状態を維持しましょう。

冬季の安全通路確保例①



屋外通路・階段踏面に融雪マットを設置

冬季の安全通路確保例②





透水性舗装（路面への降水が、舗装の下の地層に浸透するため、降雨時に凍結しにくい）

京の 転倒災害防止対策

▲京都労働局「転倒防止対策事例集 ①製造業編」より抜粋
他取組は関連ページへアクセス▶

（京都労働局内関連ページの二次元コード）